

■坂倉準三 建築家。「パリ万博日本館」で実力を世界に示し、〈敗戦〉後、「神奈川県立近代美術館」で国内現代建築を代表。

さかくらじゅんぞう

田中正造直訴1901＝ 岐阜県羽島郡竹ヶ鼻で、酒〴〵千代菊〴〵醸造元13代坂倉又吉の四男に生まれる。母あい。

日露戦争終・1905＝ 4歳：

アヲキ〴〵創刊・ 1908＝ 7歳：竹ヶ鼻尋常高等小学校に入学、

韓国併合・・1910＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝11歳：

第一次大戦始1914＝13歳：卒業し、岐阜県立岐阜中学校に入学。

21ヶ条要求・1915＝14歳：川端竜子主宰の通信教育〔スケッチクラブ〕に入会、機関誌に写生画が掲載され、〴〵画家を志す。

ベルサイユ条約・1919＝18歳：卒業し、

大暴落・・・1920＝19歳：第一高等学校文科に入学。

原敬首相暗殺1921＝20歳：

関東大震災・1923＝22歳：文科2類独文科を卒業し、〴〵東京帝国大学文学部美術史学科に進む。

富永惣一らと同級。

〴〵建築史を研究するうち、建築家を志すようになり、建築学科の講義を聞くも失望、フランス行きを決意、

円本時代始・1926＝25歳：病気のため、卒業を延期する間、〴〵コルビュジェに傾倒するようになり、

金融恐慌・・1927＝26歳：卒論「ゴシック建築に関する研究」を提出して、卒業。中村順平の塾でボザール風製図の描き方を学ぶ。

共産党事件・1928＝27歳：近衛歩兵の幹部候補生で兵役中、春秋社「大思想エンサイクロペディア」にブルネレスキらの評伝を執筆。

世界恐慌・・1929＝28歳：渡仏、初めて前川国男に会い、紹介されたコルビュジェの勧めで、専門学校で建築を修学、
帰国前の前川国男の仕事も手伝う。

満州事変・・1931＝30歳：卒業して、ル〴〵コルビュジェのアトリエに入所、

五一五事件・1932＝31歳：渡欧してきた富永惣一らと、ヨーロッパ旅行し、各地の古建築を見て回る。

帝人疑獄事件1934＝33歳：スキーに夢中になり、インストラクターの指導も受ける。

二二六事件・1936＝35歳：〴〵帰国するも、パリ万国博日本館の設計監理のため再渡仏し、

日中戦争始・1937＝36歳：CIAM総会に出席、国際常任委員になる。*グランプリを獲得、一躍世界にその名を知られる。

総動員+健保 1938＝37歳：日本館完成後も、フランスに留まり、コルビュジェの都市計画に協力して、

第二次大戦始1939＝38歳：〴〵帰国。文科学院院長西村伊作の次女百合と結婚、渡満し、遺跡を見学後、新京南湖住宅地計画、

大政翼賛会・1940＝39歳：長女が誕生。〔クラブ・シュメール〕結成に参加。*〔坂倉建築事務所〕を設立。商工省貿易局の依頼で、シャルロット・ペリアンを招聘、組立建築の端緒となる。以後、国や建築界の諸委員を務めるようになる。

日米開戦・・1941＝40歳：

近代の超克・1942＝41歳：次女が誕生。この間、受注する建築設計を次々こなしながら、国土建設戦争組立建築研究所を設立したのはじめ、軍の活動に協力するうち、

敗戦・・・1945＝44歳：事務所も空襲で焼失、〴〵終戦となる。

新憲法公布・1946＝45歳：長男が誕生。〔坂倉準三建築研究所〕と改称、GHQの委嘱で、連合軍関係施設設計に従事しながら、龍村織物以降、次々と設計業務も受注、

新憲法施行・1947＝46歳：竹製家具開発のための会社を設立し、銀座の民芸店〔たくみ〕で販売、

極東裁判決・1948＝47歳：大阪支所を開設。

三大事件・・1949＝48歳：ニューヨーク近代美術館のロー・コスト家具コンペに応募、竹製椅子が佳作入選。

朝鮮戦争始・1950＝49歳：「大阪スタジアム」でプレキャスト・コンクリート採用、「高島屋大阪難波新館増改築」は高く評価され、後の再開発業務への契機となる。指名設計競技によって、「神奈川県立近代美術館」の実施案に採用され、母が死去。「東京日仏学院」、塩野義製菓東京支店。*傑作「神奈川県立近代美術館」が完成。第1回サンパウロ・ビエンナーレの建築審査員に招聘され、ブラジルに渡り、終了後、米欧各国を廻って帰国。

メデー事件・ 1952＝51歳：東急電鉄五島慶太の依頼で「東急会館(のち東横百貨店)」の設計を開始、

自衛隊発足・1954＝53歳：「岡本太郎邸」。〴〵「東急会館」が完成、ターミナルビルのモデルになり、以後、長期に渋谷に関わる。

55年体制始・1955＝54歳：「国立西洋近代美術館」設計のために来日したコルビュジェと再会。「国際文化会館」指名設計競技で、前川国男、吉村順造と三者の共同設計が決定。

国連加盟・・1956＝55歳：「神奈川県立近代美術館」で神奈川県建築賞。「国際文化会館」で日本建築学会賞(共同)。

なべ底不況・1957＝56歳：ミラノ・トリエンナーレ日本代表委員となり渡欧。

インスタントメン・1958＝57歳：前川国男、吉阪隆正とともに、コルビュジェに協力した「国立西洋近代美術館」が完成、

美智子妃・・1959＝58歳：「シルクセンター国際貿易観光会館」で神奈川県建築賞。世界デザイン会議実行委員長として成功に尽力。

安保闘争・・1960＝59歳：「京王帝都電鉄渋谷駅」、〴〵再び、ミラノ・トリエンナーレ日本代表委員となり渡欧。メキシコ建築家協会名誉委員。世界デザイン会議への貢献で、日宣美より表彰。「新宿副都心計画案」、

タイタイ病始・1961＝60歳：「羽島市庁舎」で日本建築学会賞。

東京カンパ〴〵 1964＝63歳：日本建築家協会会長に就任、

いざなぎ景気1966＝65歳：「神奈川県立近代美術館新館」、「神奈川県新庁舎」、新宿副都心の玄関となる「新宿西口広場駐車場」、

美濃郡都知事1967＝66歳：「小田急百貨店本館」。建設省建築審議会委員。アメリカ建築家協会海外名誉委員。

震ヶ関ビ〴〵 1968＝67歳：「新宿西口広場駐車場」で日本都市計画学会石川賞。日本建築家協会会長を退任し、

全共闘・・・1969＝68歳：*なお、駐仏日本大使公邸の建設協力で渡仏し、タイの職業教育学校の指導のため現地訪問するなど元気であったが、心筋梗塞で没した。

あ